

オンラインで本物とつながる、広がる ネットでEnglish!

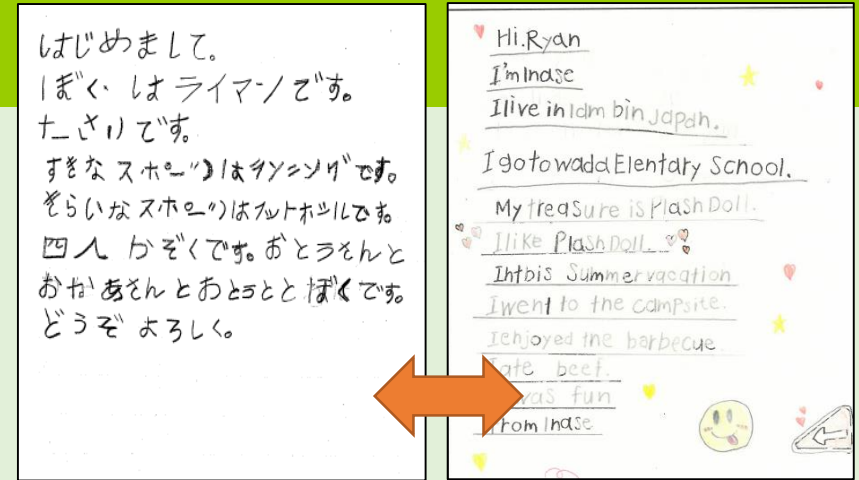
<第6学年「Unit4 Summer Vacations in the World」>

昨年度交流したオーストラリアの学校にアポイントを取り、お互いの学習のアウトプットをしていこうという話になりました。

まずは、「書くこと」のアウトプットとして、自己紹介と夏休みの出来事を英文で書いたものを、手紙として交換（PDF化し、メールで送信）するというやり取りをしました。相手がオーストラリアの児童になることで、より課題意識を持って取り組むことができました。また、オーストラリアの児童から手紙をもらうことで、外国に興味を示すよいきっかけとなりました。

<第6学年「Unit6 Let's think about our food」>

この学習では、学んだ知識を生かして、クイズづくりを行いました。そして、その相手を手紙交換をした子たちにすることで、より意欲的に取り組むことができました。お互いに、学んだ言語を使って、会話を楽しみました。活動自体は、「ネットでEnglish」という市主催の教育活動の一環で、これまでも希望校はオンラインでつながることができました。



▲実際の手紙（左：オーストラリア、右：日本）
オーストラリアの児童は日本語で、本校児童は英語で手紙を書き、交換した。



▲オンラインでつながった様子



ICT活用のポイント

- ・オンラインでプレゼン機能を使用する場合、事前に動作確認や発表者と受信者の環境を確認しておく必要がある。
- ・海外とつながる場合は、時差などを考え、両校にあった時間設定が必要である。